第１９期（令和５年度）

事　業　報　告　書

佐久市社協イメージキャラクター 「さーくちゃん」

社会福祉法人　佐久市社会福祉協議会

目　次

1　事業総括　1

2　事業方針・重点目標に対する取り組み（総務課・福祉課）　2～5

3　事業実施報告（詳細）

事　業　名			ページ
1　総務課　法人運営全般			
	(1)	運営会議の開催	6
	(2)	事務事業改革検討プロジェクトチームの開催	6
	(3)	文書整理	6
	(4)	経理・財務	7
	(5)	労務・人事管理	7
	(6)	長野県の最低賃金の見直し	8
	(7)	職員採用	8
	(8)	職員研修の実施	8
	(9)	防災訓練の実施	8
	(10)	相談援助実習生の受け入れ	9
	(11)	職員の健康管理	9
	(12)	職員互助会	9
	(13)	佐久ブロック社協市町村事務局の活動	9
2　総務課　部会委員会			
	(1)	理事会の開催	10
	(2)	評議員会の開催	11
	(3)	社協運営施設見学会の開催	12
	(4)	評議員選任・解任委員会の開催	13
	(5)	事業及び会計の監査	13
3　総務課　社協会費活動			
	(1)	社協会費活動	13
4　総務課　啓発宣伝			
	(1)	社協ホームページ等の活用	14
	(2)	社協報広報「ぴーぷる」の発行	14
	(3)	佐久市社会福祉大会の開催（市と共催）	14
	(4)	紙の門松の発行	15
5　福祉課　地域福祉部門（ボランティア活動の推進）			
	(1)	ボランティアの育成	15
	(2)	地域福祉講座（新）	15
	(3)	さーくちゃんち（家）でごはんを食べようの開催	15
	(4)	災害ボランティア講座	16
	(5)	育児・介護¨助っ人¨養成講座	16
	(6)	お掃除大作戦ボランティア講座・活動	16
	(7)	安心コール事業	16
	(8)	お元気レター事業	17

事　業　名			ページ
6	**福祉課**	**地域福祉部門（各種相談体制の充実）**	
	(1)	生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）	18
	(2)	緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業（県社協補助事業）	18
	(3)	日常生活自立支援事業（県社協受託事業）	18
	(4)	生活困窮者自立支援事業（市受託事業）「まいさぽ佐久市」	18
	(5)	家計改善支援事業（市受託事業）	19
	(6)	さく成年後見支援センター運営事業（広域連合受託事業）	19
	(7)	結婚相談事業・婚活講座	20
7	**福祉課**	**地域福祉部門（地域福祉活動の推進）**	
	(1)	ふれあいいきいきサロン事業（世話人交流会事業含む）	21
	(2)	ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」（育児支援）	22
	(3)	介護´助っ人´事業（介護支援）	22
	(4)	敬老会助成事業（総務課）	22
	(5)	佐久市社会福祉大会への参加（総務課）	23
	(6)	佐久ふれあい広場の開催	23
	(7)	佐久市地域福祉活動計画策定評価事業	23
	(8)	フードドライブ事業	24
	(9)	地区社会福祉協議会活動の支援並びに助成事業	24
	(10)	希望の旅事業	24
	(11)	共同募金の募集推進及び配分金の効果的活用（総務課）	25
	(12)	高齢者緊急時連絡票の配布	27
	(13)	ひとり暮らし高齢者等見守り事業（市受託事業）	26
8	**福祉課**	**地域福祉部門（福祉教育事業の充実）**	
	(1)	社会福祉普及校（福祉体験教室・福祉教材用DVD貸出）事業	28
	(2)	バリアフリーマップ事業	28
9	**福祉課**	**地域福祉部門（団体事務）**	
	(1)	日本赤十字社長野県支部佐久市地区	29
	(2)	佐久市赤十字奉仕団	29
	(3)	佐久市シニアクラブ連合会	29
	(4)	佐久市戦没者遺族会	30
	(5)	佐久市献眼者慰霊祭の開催	30
１０	**福祉課**	**施設管理・運営部門**	
	(1)	佐久市福祉総合センター	31
	(2)	佐久市老人福祉センター「長寿閣」	31
	(3)	佐久市臼田老人福祉センター	31
	(4)	佐久市臼田総合福祉センターあいとぴあ臼田	31
	(5)	浅科保健センター	32
	(6)	佐久市望月老人福祉センター	32

事　　業　　名			ページ
１１　福祉課　介護保険・障害福祉部門			
	(1)	佐久市あいとぴあ臼田ディサービスセンター	33
	(2)	佐久市浅科ディサービスセンター	33
	(3)	就労継続支援B型　臼田共同作業センター	34
	(4)	就労継続支援B型　浅科ふれあいホーム	34
	(5)	佐久市社協特定相談支援事業所	36
	(6)	佐久市社協多機能型事業所くれよん	36
	(7)	居宅介護支援事業所（社協ケアプランセンター佐久）	36

１　事　業　総　括

地域社会では、少子高齢化の進展による人口減少、過疎化などを背景に、地域住民同士の支え合い機能の弱まり、貧困や虐待、ひきこもりなど地域の中での孤立を起因としたさまざまな生活問題が深刻化しています。さらに、価値観や生活スタイルの多様化により、市民の抱える問題も複雑化しています。

このような状況の中、佐久市社会福祉協議会は地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織として、関係機関と連携しながら地域のニーズを把握し、市民の抱える生活課題への対応をすべく、基本理念に掲げた「人と人とがつながり支え合う地域づくり」のもと、事業方針や重点事業を掲げ、各種事業を実施してまいりました。

また、併せて令和２年度に策定した「第一次　佐久市社会福祉協議会　発展・強化（改善）計画」（Ｒ３～Ｒ７）に基づいて、地域福祉事業や介護・障害福祉サービス事業の展開をするとともに適切な法人運営に努めております。

令和５年度においては、５月８日に、新型コロナウィルス感染症が５類感染症に変更されたことに伴い、様々な事業を再開した１年となりました。

本協議議会においては、各区で開催されてきた「ふれあいいきいきサロン事業」の再開を目指して「サロン体験会」を実施するとともに、「地域福祉講座」を開催することでボランティア活動のきっかけづくりに取り組んでまいりました。また、事務事業改革検討プロジェクトチームにより、SNS（LINE）を活用した事業周知拡大にも取り組むことで、啓発宣伝の強化に努めてまいりました。

介護保険・障害福祉部門では、引き続き感染防止対策等のために、手指衛生の徹底やマスクの着用を行い感染経路の遮断等、感染対策を講じた上で、運営を行い、また、理事、評議員、第三者委員の皆様を対象とした本協議会の施設、事業所見学会を開催し、各施設で抱えている課題等について知っていただく機会となりました。

今後も、少子高齢化や社会経済情勢が大きく変化する中で、地域福祉の充実と課題解決に努め、市民の皆様から必要とされる社会福祉協議会を目指して事業を推進してまいります。

２　事業方針・重点目標に対する取り組み

法人運営（総務課）

１　法人運営の強化

法人組織としての適切な運営を中心に、財務管理や労務、人事管理も含めた各部門の総合的な調整などの組織管理を行うとともに、社会福祉施設等価格高騰対策支援金を活用するなど財源確保に取り組み、経営の強化を図りました。

（１）本協議会発展・強化（改善）計画に沿った具体的な事業展開

発展・強化（改善）計画の実施状況の進行管理を行い、本協議会を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえながら事業展開し、令和４年度事業評価を行いました。

（２）職員の資質向上

各事業等で必須となる資格や研修を計画的に実施しました。全体研修として令和４年度試験的に導入した「人事評価」について、役割と目的や導入の流れ、その他としまして「地域福祉とはなにか」「接遇について」学びました。また、福祉職場としてのキャリアアップのため、長野県社会福祉協議会が実施する福祉職員生涯研修にも計画的に参加しました。

（３）啓発宣伝の強化

広報誌「ぴーぷる」の編集委員会を職員で編成し、市民の方が興味・関心・親近感を持って、見て読んでいただける社協報にするには、どうしたらいいのか検討し記事の掲載を心がけました。また、タイムリーな情報を届けられるように、LINE の開設を行いました。

２　事業実施の財源確保

（１）財源確保と事業の見直し

自主財源である社協会費、共同募金の配分金は、この１０年来わずかではありますが、年々減少しております。毎月開催する運営会議において、法人全体の会計月次報告及び介護保険、障害福祉サービス事業所の実績報告を基に、実状の把握と対策の協議を行い、収支を意識した計画的経営へと取り組みました。

（２）社協会費と共同募金の使途の丁寧な説明

社協会費と共同募金は、社協が地域福祉活動を進めていくための根幹となる貴重な自主財源です。年々減少傾向である会費納入が、増加に繋がるよう、地域で暮らす市民の皆様からご協力いただいた会費や共同募金がどのように使われているかを見える化するため、広報誌「ぴーぷる」やホームページで紹介しました。また、戸別訪問していただく役員の皆さんに負担にならないよう資料やパンフレット等の削減を行いました。

地域福祉の推進（福祉課）

１　ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」（育児支援）

子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いをしたい人が登録し、育児支援が必要な家庭に対し支援会員が有償で支援しました。支援内容は、一時預かり、家事援助、沐浴のお手伝い等といったニーズがありました。また、育児支援会員の協力をいただき、乳幼児一時預かり事業を開催し、１４名の子どもの利用がありました。

２　ふれあいいきいきサロン事業の充実（世話人交流会事業含む）

高齢者等の閉じこもりや認知症予防等を目的に、地区の集会施設等を利用して区単位でサロン（お茶のみ会）を開催していただきました。新型コロナウィルス感染症は、５類感染症に変更されたため、本協議会では「サロン体験会」を開催し、サロンでの行政の役割や本協議会の役割並びに補助金の申請のやり方等について学んでいただきました。各地区でのサロン活動再開に向けて取り組むにあたり、世話人とともに相談をしながら事業推進に努めました。

３　ボランティアセンター事業の充実

ボランティアセンターでは、活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介を行うことを目的に、ボランティアコーディネーターが、ボランティア活動の啓発やきっかけづくり、また、ボランティア活動に関する相談と受付手続き等を行いました。

また令和５年度は、「さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう」を開催し、子どもから高齢者の幅広い年齢層の皆さんにご参加いただき、食育などを通じて、地域の人々の「支え愛」「助け愛」の輪を広げることが出来ました。

４　第四次佐久市地域福祉計画・佐久市地域福祉活動計画事業

第三次計画の計画期間満了に伴い、地域福祉を取り巻く環境の変化に対応する計画を立案し、地域福祉活動の一層の推進を図ることが求められていることから、新たに第四次佐久市地域福祉計画・佐久市地域福祉活動計画を策定し、同計画に基づく事業・活動を展開してきました。

５　地区社会福祉協議会事業の充実

市内７地区に地区社会福祉協議会を設置し、自分たちの生活する地域の生活・福祉課題や困りごとを自分たち自身の問題と受け止め、関係機関などと連携・協働しながら、解決に向けて一緒に考え、ふれあい（おたのしみ会の開催)、学び合いました。（研修会の開催）

６　断らない相談支援の充実

（１）新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により生活資金にお悩みの方々に向けた緊急小口資金や総合支援資金の緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業を実施しました。特例貸付後のフォローアップ体制を強化し、３ヶ月以上の滞納者１２０世帯へ文書を発送しました。

（２）「フードドライブ事業」を実施し、困窮家庭等への食糧支援を行いました。

（３）結婚相談事業では、６名の相談員が、登録者に対し親身になって相談に応じ、希望に沿って見合いの場の設定を行いました。令和５年度の成婚件数は、１組ありました。また、ながの結婚マッチングシステムの活用による婚活相談等を実施しました。

介護保険・障害福祉サービス（在宅サービス係）

１　介護保険事業

あいとぴあ臼田デイサービスセンターでは認知症予防に効果がある「ぬり絵」、「川柳大会」、「編み物」等を行いました。事業所ならではの手作り昼食では「世界の料理」を毎月提供しました。浅科デイサービスセンターでは「出張理美容　サービス」、「移動販売車での買い物」、「大学生のボランティアの受入れ」等を行いました。また、地域の方が来所され「たこ焼き」を作って頂きながら交流を図りました。各事業所の特徴を積極的にアピールし利用者に選ばれる事業所を目指しました。

あいとぴあ臼田デイサービスセンターにおいては基準該当福祉サービス（生活介護）にて３名の利用者を受入れしました。

新型コロナ禍においても感染予防、感染対策を徹底しました。

常に笑顔を意識して利用者に接し、利用者それぞれのペースを大切にし、楽しい雰囲気で過ごせるよう心がけ、心のこもったサービスを提供しました。

２　障害福祉サービス

特定相談支援事業所は、関係機関や各事業所と連携を図りながら必要な支援が受けられるよう、調整及び代行での申請等を行い共に考えながら寄り添える支援を行いました。

就労継続支援Ｂ型事業所は、利用者の就労意欲が高まるよう、利用者にあった作業の開拓、新たな自主製品の開発、施設外就労等の創意工夫に努め、利用者のニーズに応じた支援を行いました。また、佐久市の指定管理申請をし、令和５年４月１日から令和１０年３月３１日まで５年間指定管理更新を行いました。

佐久市社協多機能型事業所くれよんの生活介護では、季節に合わせた行事を取り入れながら利用者の特性や好きな事に目を向けて楽しいと感じる事が出来る活動を継続的に行いました。また、空き缶の回収作業を通じて得たお金で自分の欲しい物を自分で選んで買う体験を行いました。色々な体験をしながらご本人の持っている力を引き出す活動を継続して行いました。放課後等ディサービスでは、特性に合わせ静かにクールダウンする場所を確保したり身体を動かす遊びを多く導入し、支援にあたりました。長期の休暇等では、地域の方からの寄付による鱒をプールに放し鱒つかみをしたり作業所と一緒に芋ほり体験を行いました。ご家族に安心し選んで頂ける施設となれるよう、SNS の活用、毎月のお便り発行、アンケート調査を行いその結果を日々の活動に活かしています。職員のスキルアップと支援の統一を図る為に事例検討を行いました。

事業実施報告（詳細）

1　総務課　法人運営全般

（1）運営会議の開催

・毎月 1 回、会長、事務局長、各課長、各係長（支所長）、各事業所の管理者が出席し、社協の経営状況の把握と対策について協議した。

（開催日）計 13 回（R4：13 回開催）

4 月 3 日（月）、4 月 10 日（月）、5 月 8 日（月）、6 月 12 日（月）
7 月 10 日（月）、8 月 21 日（月）、9 月 11 日（月）、10 月 10 日（火）
11 月 13 日（月）、12 月 11 日（月）、1 月 9 日（火）、2 月 13 日（月）
3 月 11 日（月）

（主な議題）

・会計月次報告について
・人事評価の実施について
・介護保険事業所・障害福祉サービス事業所の状況について
・退職手当積立基金制度について
・BCP 作成について

（2）事務事業改革検討プロジェクトチームの開催

・令和 5 年度は、各課より 8 名の正規職員を選出し、「佐久市社協の広報活動について考える」をテーマに、6 月から会議を開催し、令和 6 年 3 月より LINE の開設をした。

（開催日）計 12 回（R4:7 回）

6 月 7 日（水）、 6 月 19 日（月）、7 月 12 日（水）、8 月 22 日（火）
9 月 6 日（水）、10 月 5 日（木）、11 月 7 日（火）、12 月 13 日（水）
1 月 12 日（金）、1 月 31 日（水）、2 月 20 日（火）、3 月 6 日（水）

（取組内容）

・広報誌「ぴーぷる」の編集への参画（1 ページ担当）
・SNS を有効活用し、全職員が情報発信できる PR 方法の共有及び周知
・X（旧ツイッター）インスタグラムの積極的活用
・LINE の開設、掲載マニュアルの整備

（3）文書整理

出張裁断サービスを利用し、佐久市福祉総合センター及び本所にて、文書整理を行った。

・実施日：令和 6 年 3 月 19 日（火）

（4）経理・財務

・顧問税理士との業務委託契約

契約先：エイワ税理士法人

契約額：月額 16,500 円、決算業務時 55,000 円

・インボイス制度・電子帳簿保存法の対応

インボイス制度、電子帳簿保存法の開始に伴い、請求や支払い処理のやり方を相談し、対応、解決に向けて進めた。

・基金の管理と運用

経常外収支については、基金・積立金の性質と事業計画との調整を図りながら、有効的な運用ができるように管理をした。また、基金と積立金の運用についても元本保証を前提としながら、利息収入等が増加できるような運用を図った。

（開催日）6 月 22 日（木）、令和 6 年 1 月 16 日（火）

令和 6 年 3 月 19 日（火）

・寄付金の取扱い

現金 22 件（1,141,763 円）（R4：16 件、889,983 円）

物品 42 件（内訳：企業・団体 9 件、個人 33 件）（R4：58 件）

主な物品　食品、介護用品、タオル、衣類等

＊寄付金の使途が指定された寄付金については受領時に確認した。

（5）労務・人事管理

・社会保険労務士との業務委託

契約先：宮澤啓子社会保険労務士事務所

契約額：月額　33,000 円

・本会で業務委託をしている社会保険労務士に相談し、法令違反とならない体制づくりを進めてきた。また、4 月から疑義が生じた点などについても、社会保険労務士と相談をし、解決に向けて進めている。

・人事評価の実施

職員が職務を遂行するにあたり、発揮した能力を公平に把握することにより職員の執務能率及び意欲を増進させるとともに、公平な人事を確立することを目的とし人事評価を進めた。

（6）長野県の最低賃金の見直し

・県内の事業場で働く全ての労働者に適用される「長野県最低賃金」が、令和 5 年 10 月 1 日から時間額 948 円に改正されたため、本会も改正した。

（7）職員採用

・令和 5 年 10 月に新規正規職員を採用するため、職員採用試験を行った。
第 1 次試験　　8 月 6 日（日）　　第 2 次試験　　9 月 4 日（月）
10 月 1 日付け　　3 名採用

・令和 6 年 4 月 1 日に新規正規職員を採用するため、職員採用試験を行った。
第 1 時試験　10 月 15 日（日）　　第 2 次試験　　11 月 30 日（木）
4 月 1 日付け　　1 名採用

・ハローワークなどを利用し、随時臨時職員の募集を行った。

（8）職員研修の実施

【第 1 回】人事評価について　12 月 19 日（火）
【第 2 回】地域福祉講座「ボランティアってなあに」令和 6 年 1 月 13 日（土）
地域福祉講座「地域福祉とはなにか」　　令和 6 年 1 月 27 日（土）
【第 3 回】「接遇について」令和 6 年 2 月 22 日（木）
在宅サービス係職員研修に併せ実施
【その他研修】

・令和 5 年度長野県内社会福祉協議会職員基礎研修
・令和 5 年度長野県内社会福祉協議会職員実務者（中堅）研修
・福祉職員生涯研修（新人育成担当者研修）
・令和 5 年度災害ボランティアセンター運営支援者（DSAT 等）養成基礎研修
・2023 年度社会福祉士実習指導者講習会
・コミュティにおけるソーシャルワークの強化研修・長野 2023
・社会福祉法人会計実務講座
・福祉職員生涯研修　新任職員課程
・令和 5 年度決算書読み方講座等

（9）防災訓練の実施

・佐久市総合防災訓練に参加し、発災直後の組織体制の構築と職員への連絡及び安否確認を確認するとともに、災害ボランティアセンターマニュアルに沿って、センター開設の役割を再確認した。
日時：8 月 26 日（土）
場所：あいとぴあ臼田
参加者：職員 15 名、実習生 4 名

（１０）相談援助実習生の受け入れ（学校名・受入人数・期間）

・NHK 学園　　１名　期間：7 月 10 日～7 月 26 日
・佐久大学 3 年生　　2 名　期間：8 月　9 日～9 月 20 日
・長野大学 3 年生　　1 名　期間：8 月　9 日～9 月 20 日
・群馬医療福祉大学 3 年生　　1 名　期間：8 月　9 日～9 月 20 日
・佐久大学 2 年生　　1 名　期間：令和 6 年 2 月 19 日～2 月 29 日

（実習内容）

・本会の介護保険事業所、地域福祉係、各支所等で研修をしていただいた。

（１１）職員の健康管理

・職員健康診断の実施
・新型コロナウィルス感染症予防の啓発、消毒の実施

（１２）職員互助会

・役員会の開催　7 月 13 日（木）13 時 30 分～
・定期総会の開催（書面により開催）

（１３）佐久ブロック社協市町村事務局の活動（幹事社協：御代田町社協）

・県社協を中心に佐久市、小諸市、南・北佐久郡の町村の社協で組織されており、近隣社協での情報共有や連携を目的としている。

（事務局連絡会議）

日時：6 月 6 日（火）14 時 00 分～
場所：ハートピアみよた
内容：令和 4 年度佐久ブロック社協会計決算について
　　令和 5 年度佐久ブロック社協事業計画（案）について
　　令和 5 年度佐久ブロック社協会計予算（案）について
　　県社協等の事業について　他

（事業実施社協）令和 5 年度佐久市社協当番（福祉課）

・第 39 回佐久地区ボランティア・地域活動フォーラム

日時：12 月 17 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分
場所：長野県立武道館　主道場
内容：川崎　昭仁さんトーク＆ライブ、作業所販売むら

２　総務課　部会委員会

・理事・評議員・監事・評議員選任・解任委員の役割や位置づけについて、社会福祉法を遵守し会務の運営を行った。なお、理事の任期が６月の定時評議員会終結の時までであったことから、各種団体から推薦等をいただき、役員の改選を行った。

（１）理事会の開催

【第１回理事会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　４月 11 日（火）
　議案第 １号　第１回評議員会の開催について
　議案第 ２号　評議員補欠選任候補者の推薦について

【第２回理事会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　５月 19 日（金）
　議案第 ３号　常務理事の選定について
　議案第 ４号　理事補欠選任のための第２回評議員会の開催について
　議案第 ５号　評議員補欠選任候補者の推薦について

【第３回理事会】
日時：５月 30 日（火）13 時 28 分～14 時 48 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席理事７名、欠席理事４名、欠席監事１名
　議案第 ６号　令和４年度事業報告について
　議案第 ７号　令和４年度一般会計決算について
　議案第 ８号　令和５年度一般会計補正予算（第１号）について
　議案第 ９号　令和５年度定時評議員会の開催について

【第４回理事会】
日時：６月 13 日（火）13 時 21 分～14 時 03 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席理事８名、欠席理事１名、欠席監事２名
　議案第 10 号　会長の選定について
　議案第 11 号　副会長の選定について
　議案第 12 号　常務理事の選定について
・会長、副会長、常務理事　委嘱書の交付
・佐久市社会福祉協議会事業について説明

【第５回理事会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　７月４日（火）
　議案第 13 号　第５回評議員会の開催について

【第 6 回理事会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　7 月 25 日（火）
議案第 14 号　会長の選定について
議案第 15 号　副会長の選定について
議案第 16 号　常務理事の選定について
【第 7 回理事会】
日時：12 月 5 日（火）9 時 56 分～10 時 25 分
場所：あいとぴあ臼田　多目的室 3.4
出席理事 10 名、欠席理事 1 名、出席監事 1 名
議案第 17 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 18 号　一般会計補正予算（第 2 号）について
議案第 19 号　第 4 回評議員会の開催について
【第 8 回理事会】
日時：令和 6 年 3 月 5 日（火）9 時 25 分～11 時 26 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席理事 8 名、欠席理事 3 名、出席監事 1 名
議案第 20 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 21 号　組織規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 22 号　公印管理要綱の一部を改正する要綱の制定について
議案第 23 号　経理規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 24 号　職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
議案第 25 号　佐久市福祉総合センターの設置及び管理運営に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
議案第 26 号　契約職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
議案第 27 号　一般会計補正予算（第 3 号）について
議案第 28 号　令和 6 年度事業計画について
議案第 29 号　令和 6 年度一般会計補正予算について
議案第 30 号　第 5 回評議員会の開催について

（2）評議員会の開催
【第 1 回評議員会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　4 月 20 日（木）
議案第 1 号　理事の補欠選任について
【第 2 回評議員会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　5 月 24 日（水）
議案第 2 号　理事の補欠選任について

【定時評議員会】
日時：6 月 13 日（火）9 時 25 分～11 時 13 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席評議員 12 名、欠席評議員 3 名
議案第 3 号　令和 4 年度事業報告について
議案第 4 号　令和 4 年度一般会計決算について
議案第 5 号　令和 5 年度一般会計補正予算（第 1 号）について
議案第 6 号　理事・監事の選任について
第四次佐久市地域福祉計画・佐久市地域福祉活動計画（佐久市再犯防止推進計画）について
【第 3 回評議員会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　7 月 21 日（金）
議案第 7 号　理事の補欠選任について
【第 4 回評議員会】
日時：12 月 19 日（火）9 時 55 分～10 時 22 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席評議員 13 名、欠席評議員 2 名　出席理事（会長）1 名
議案第 8 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 9 号　一般会計補正予算（第 2 号）について
【第 5 回評議員会】
日時：令和 6 年 3 月 15 日（金）13 時 27 分～14 時 56 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席評議員 15 名、出席理事（会長）1 名　出席監事 1 名
議案第 10 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 11 号　一般会計補正予算（第 3 号）について
議案第 12 号　令和 6 年度事業計画について
議案第 13 号　令和 6 年度一般会計予算について

（3）社協運営施設見学会の開催
日時：10 月 12 日（木）13 時 00 分～16 時 40 分
場所：市内社協運営施設 12 か所
対象：理事、評議員、第三者委員
出席者：8 名（R4:開催なし）

（４）評議員選任・解任委員会の開催

【第１回評議員選任・解任委員会（書面議決）】

決議があったとみなされた日　４月 28 日（金）

　議案第 １号　評議員補欠選任候補者の決定について

【第２回評議員選任・解任委員会（書面議決）】

決議があったとみなされた日　６月５日（月）

　議案第 ２号　評議員補欠選任候補者の決定について

（５）事業及び会計の監査

【令和４年度監査】

日時：5 月 22 日（月）13 時 30 分～17 時 00 分

場所：あいとぴあ臼田　多目的室 1.2 号

出席監事２名

内容：(1) 令和４年度業務執行状況

　　(2) 令和４年度決算財産状況

【令和５年度中間監査】

日時：11 月 22 日（水）9 時 00 分～12 時 00 分

場所：あいとぴあ臼田　多目的室 3.4 号

出席監事２名

内容：(1) 令和５年度上半期（4 月～9 月）事業報告

　　(2) 令和５年度上半期（4 月～9 月）会計報告

３　総務課　社協会費活動

・地域住民の参加・支持を基盤に福祉サービスを展開していくため、会員（会費）の募集を行った。

・ご協力いただく会費が年々減少傾向にあるが、貴重な自主財源であるため、社協報「ぴーぷる」や社協ホームページなどに、会費の活用方法などについて掲載し、市民の皆様に広くご協力いただき、支えていただけるよう募集を呼びかけた。

令和５年度会費額　20,637,608 円　　会員数　21,302 名

（R4:会費額　　21,395,280 円　　会員数　22,099 名）

４　総務課　啓発宣伝

（１）社協ホームページ等の活用

・パソコンやスマートフォンの普及により、社協事業の情報発信のための重要なツールとなっていることから、情報の更新を頻繁に行い、分かりやすく、見やすいホームページとなるように構成や更新を行った。

・新規に LINE アカウントを取得した。

ホームページアクセス数（セッション数）	30,536 件（R4:25,668 件）
Ｘフォロワー	1,101 人（R4: 1,016 人）
インスタグラムフォロワー	391 人
LINE お友達	60 人

（２）社協報広報「ぴーぷる」の発行

・社協事業を広く市民に周知するために、社協広報誌「ぴーぷる」を奇数月に発行している。年間の掲載計画を作成し、社協編集委員、プロジェクトチームによる掲載内容の検討を行い、各事業等が効果的に事業の PR ができるように計画的に進めた。

（３）佐久市社会福祉大会の開催（市と共催）

・佐久市社会福祉大会は、地域のふくし課題を取り上げ、解決するため、式典表彰・実践発表・講演会等を通して、地域福祉活動への関心を深めることを目的に開催した。

（表彰審査委員会の開催）会長表彰・感謝状を贈呈して行う表彰対象者の審査

日時：8 月 30 日（水）13 時 30 分～

場所：あいとぴあ臼田　多目的室 2

審査委員：9 名

（社会福祉大会の開催）

日時：9 月 16 日（土）14 時 00 分～16 時 40 分

場所：佐久市コスモホール

参加者数：209 人

（1）会長表彰

寝たきり高齢者等模範介護者表彰	2 名（R4:3 名）
社会福祉功労者（団体）表彰	1 団体（R4:1 団体）
民生児童委員表彰	0 名（R4:10 名）

（2）感謝状を贈呈して行う表彰　寄付　0 団体（R4:1 団体）

（4）紙の門松の発行

12 月初旬に 1 世帯 2 枚を目安に各戸へ配布した。

・作成枚数　71,500 枚（R4:71,500 枚）

5　福祉課（地域福祉部門　ボランティア活動の推進）

ボランティアセンター活動事業（ボランティア活動の充実）

・社協本所、各支所にボランティアセンターを設置し、ボランティアコーディネーターを配置し、センター機能の充実を図り、ふれあいいきいきサロン等で収集した情報や住民のニーズに沿ったボランティアの受付、登録、活動紹介を行った。

・ボランティア登録したグループ等が、各ボランティアセンターを利用した。

（1）ボランティアの育成

○ボランティアの相談、斡旋、登録等を行うとともに、ボランティアの育成とボランティア保険の加入手続きを行った。

ボランティア団体数：　78 団体（R4:73 団体）

ボランティア登録者数：2,121 名（R4:1,730 名）

（2）地域福祉講座（新）

○「ふくし」について学び体験し、一人ひとりがしあわせに暮らしていけるよう自分のことや他の人に支えてもらいながら、笑顔で過ごせる大切さを学ぶことを目的に開催した。参加者から学びたい内容について情報収集することができた。

・日時：（1 回目）令和 6 年 1 月 13 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分

（2 回目）　　1 月 27 日（日）13 時 00 分～16 時 00 分

・場所：佐久市福祉総合センター

・内容：（1 回目）講話「ボランティアってなあに」

（2 回目）講話「地域福祉活動とはなにか」

・受講者数：54 名

（3）さーくちゃんち（家）でごはんを食べようの開催

○食育などを通じて、地域の人々の「支え愛」「助け愛」の輪を広げる。また、世代や属性を問わず、参加した誰もが元気、笑顔になれるよう交流した。

・実施回数：　22 回（佐久 10 回 臼田　9 回 浅科　3 回）

（R4:9 回　佐久 6 回臼田 2 回浅科 1 回）

・実施内容：食料支援、お弁当の配布、おにぎりの配布、子どもとの遊び 他

＊望月地区については令和６年度から開催予定。

（４）災害ボランティア講座

○もしもの災害に備え、市民自らが防災に係る意識や心構えの習得と意識をもってもらい知識習得により防災力を高めることを目的に開催した。

・日時：6 月 17 日（土）10 時 00 分～16 時 00 分
・場所：あいとぴあ臼田　ホール
・内容：「災害と支援を学ぶ」「家屋復旧の支援（大工系ボランティアとは)」
・受講者数：20 名（R4：10 名）

（５）育児・介護“助っ人”養成講座

○ファミリーサポート事業と介護“助っ人”事業を実施するために、支援会員を養成した。

・日時：令和６年１月 26 日（金)、2 月 2 日（金)、2 月 9 日（金）
・時間：13 時 30 分～15 時 00 分
・場所：佐久市福祉総合センター
・内容：「育児と介護とは」「今、これからの高齢社会に求められること」
　　「救急法」等
・受講者：16 名（R4:28 名）

（６）お掃除大作戦ボランティア講座・活動

○地域のごみ問題を解決するために、ごみ屋敷の片付けやごみ出しボランテイアを行った。

（ごみの片付け 2 件）
・日時：11 月 1 日（水）9 時 00 分～12 時 00 分
・場所：個人宅（市内）
・内容：住居内の片付け
・日時：令和６年２月８日（木）13 時 00 分～14 時 20 分
・場所：個人宅（市内）
・内容：退院に伴う住居内の片づけ
・地域のボランティア、社協職員が一緒になり活動をした。

（７）安心コール事業

○希望する 70 歳以上のひとり暮らし高齢者等に、ボランティアが電話による安否確認と話し相手を行う。コールの頻度は、登録者の希望に合わせ、登録者が何日も電話に出ない日が続いた場合は、関係機関に情報を繋いだ。また、民生児童委員協議会各地区定例会へ出席し、事業の説明及び登録者の確認について

依頼した。

・実施日数:158 日（R4:186 日）
・登録者:59 名（内訳：佐久 33 名　臼田 11 名　浅科 5 名　望月 10 名）
　（R4:82 名　内訳：佐久 53 名　臼田 14 名　浅科 5 名　望月 10 名）
・延コール回数 :1,647 回（R4:2,172 回）
・ボランティア延活動人数：158 名（R4:161 名）
（安心コールボランティア交流会の開催）
・日時：令和 6 年 3 月 4 日（月）10 時 00 分～11 時 00 分
・場所：あいとぴあ臼田　多目的室 2
・参加者：8 名

（8）お元気レター事業

○ボランティアが描いた絵手紙を、希望する 70 歳以上のひとり暮らし高齢者等に郵送し、その絵手紙を通して高齢者の孤独感を解消し、安心して生活するためのお手伝いとして事業を実施した。また、民生児童委員協議会各地区定例会へ出席し、事業の説明及び登録者の確認並びに新規利用者の登録を依頼した。
・実施日数:32 日
・登 録 者:512 名（内訳：佐久 351 名　臼田 71 名　浅科 25 名　望月 65 名）
　（R4:552 名　内訳：佐久 382 名　臼田 79 名　浅科 23 名　望月 68 名）
・ボランティア数：80 名（R4:64 名）
（絵手紙講習会の開催）
・日時：令和 6 年 3 月 8 日（金）9 時 30 分～11 時 30 分
・場所：佐久市福祉総合センター　中会議室
・参加者：9 名（R4: 33 名）

６　福祉課（地域福祉部門：各種相談体制の充実）

（１）生活福祉資金貸付事業＜県社協受託事業＞

○長野県社会福祉協議会の委託を受け、低所得世帯や障がい者・高齢者世帯などに対し、経済的自立と生活意欲の助長、在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活ができるための資金貸付及び償還指導を行った。

（貸付の審査決定は長野県社会福祉協議会が実施）

・貸付件数：16 件（R4:16 件）

・貸付金額：5,015,000 円（R4:5,806,000 円）

（２）緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業

＜県社協補助事業＞

○コロナ禍において実施した特例貸付後のフォローアップ体制を強化するとともに、現在の状況を確認するため、3 ヶ月以上滞納している 120 世帯へ文書を発送した。

・住所不明世帯　　23 件

・折り返し連絡世帯　11 名

残り 86 世帯については令和 6 年度に電話・自宅訪問等を実施する。

（３）日常生活自立支援事業＜県社協受託事業＞

○長野県社会福祉協議会の委託を受け、佐久市・南佐久管内の基幹的社協として、判断能力に不安がある認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を支援した。

・有効契約件数：認知症高齢者：10 件（R4:12 件）

知的障がい者：6 件　（R4:12 件）

精神障がい者：22 件（R4:17 件）

その他　　：1 件（R4:3 件）　　計 39 件（R4:44 件）

・生活支援員、専門員の利用援助回数　914 回（R4:788 件）

（４）生活困窮者自立支援事業〈市受託事業〉「まいさぽ佐久市」

○生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者などが困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつその状況に応じて包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における早期把握のためのネットワークを構築し、支援対象者の自立、就労支援の促進を図ることを目的に実施した。

新規相談受付件数　229 件（R4:282 件）

プラン作成件数　　34 件（R4:28 件）

一般就労者数　　16 名（R4:26 件）

（5）家計改善支援事業＜市受託事業＞

○生活困窮者に対し、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す改善相談を行い、生活の早期再生を図れるよう「まいさぽ佐久市」と連携を図りながら支援をした。

・利用者からの相談延べ件数　392 件（R4:148 件）
・新規相談件数　　7 件（R4:5 件）

（6）さく成年後見支援センター運営事業＜広域連合受託事業＞

○平成 28 年度より、本協議会が佐久広域連合から成年後見支援事業を受託し、福祉課に「さく成年後見支援センター」を設置。成年後見制度に関わる相談業務と制度の利用促進普及啓発を実施。一定の要件を満たした方の法人後見を受任した。

・相談件数
　令和 5 年度新規契約　18 件（R4:6 件）
　継続支援　　518 件（R4:626 件）
・ケース受任調整会議　1 回の開催につき概ね 5 事例を検討した。

（佐久圏域成年後見中核機関連絡会の開催）

・日時：11 月 30 日（木）
・場所：あいとぴあ臼田　ホール
・内容：（1）法人後見受任状況、相談等実績
　　（2）成年後見制度利用に関するトラブルについて
　　講師：弁護士　山田　啓顕　氏
・出席者：23 名（R4:22 件）

（成年後見制度普及及び啓発研修会の開催）

①佐久地域福祉関係職員成年後見制度研修会（福祉職向け・住民向け合同研修）

・日時：11 月 24 日（金）
・場所：あいとぴあ臼田　ホール
・内容：将来にそなえる任意後見制度と遺言作成「安心な老後のために」
　　講師：佐久公証役場　公証人　竹村　政男　氏
　出席者数：52 名（R4:中止）

②市民普及啓発出前講座等

・8 月 21 日（月）社会福祉法人恵仁会研修会　　出席者：23 名
・8 月 28 日（月）ケアカフェ（南相木村公民館）出席者：60 名
・10 月 15 日（日）2023『福祉と健康のつどい』（佐久穂町）パネル展示

・11 月 15 日（水）浅科・望月地域包括連絡協議会　　出席者：15 名
・11 月 15 日（水）軽井沢町地域包括支援センター　　出席者：　4 名
・令和 6 年 1 月 16 日（火）長野県労働金庫佐久支店　出席者：10 名
・令和 6 年 3 月 19 日（火）小海町高齢者地域ケア会議　出席者：7 名

③法人後見受任審査会

審査会委員　8 名

（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、市町村福祉行政関係で構成）

・第 1 回　6 月 6 日（火）　審査 6 件
・第 2 回　8 月 7 日（月）　審査 8 件
・第 3 回　11 月 14 日（火）審査 4 件
・第 4 回　令和 6 年 1 月 25 日（木）審査 5 件
・第 5 回　令和 6 年 3 月 15 日（金）審査 7 件、辞任審査 1 件（書面開催）
・法人後見：受任者 46 名（R4:34 名）
（内訳：小諸市 9　佐久市 21　小海町 1　川上村 3　南牧村 0　南相木村 0
北相木村 0　佐久穂町 4　軽井沢町 1　御代田町 5　立科町 2）
・相談支援件数：　645 件　　・法人後見受任件数：46 件
（R4:722 件）　　（R4:34 件）

（7）結婚相談事業・婚活講座

○出逢いの機会が少ない結婚を希望する男女に、出逢いの場を提供した。

・相談所開設：月 2 回 日曜日に開催（内、隔月で平日の夜間）
・相談員数　：6 名
・延相談件数：86 件（男性 67 件　女性 19 件）
（R4:122 件　男性 86 件　女性　36 件）
・登録者　　：79 名（R4:67 名）
・見合い件数：6 件　（R4:22 件）
・成婚件数　：1 組　（R4:1 組）

7　福祉課（地域福祉部門：地域福祉活動の推進）

（1）ふれあいいきいきサロン事業（世話人交流会事業含む）

○地区集会施設等を利用して、高齢者の閉じこもり予防、認知症予防を目的に、区単位でサロン（お茶飲み会）を開催。行政及び地域包括支援センター等と連携し、未開催地区の立ち上げを図り市内全地区で開催を目指して周知を行った。コロナ禍においても、検温・手指消毒・マスク着用を行い、安心して参加できるよう工夫して開催した。

（実施地区）

・佐　久　57 地区　延参加者：3,939 名　　（R4:23 地区　1,468 名）
・臼　田　12 地区　延参加者：　802 名　　（R4:6 地区　　358 名）
・浅　科　　7 地区　延参加者：1,336 名　　（R4:6 地区　　725 名）
・望　月　　6 地区　延参加者：　325 名　　（R4:3 地区　　　83 名）

合計：82 地区　総延参加者：6,402 名
（R4:38 地区　2,634 名）

（新規立ち上げサロン数）1 区（R4:なし）

（開催場所）

・各地区公民館、佐久市老人福祉センター長寿閣、
　佐久市望月老人福祉センター

（主なサロン活動内容）

・体操、健康講話、交流会など

（ふれあいいきサロン体験会）

・新型コロナウィルス感染症が 5 類になり、区長、民生児童委員、世話人等を対象に、サロン事業を再開するきっかけづくりとして開催した。
・日時：6 月 9 日（金）臼田会場：10 時 00 分～11 時 00 分
　　浅科会場：13 時 30 分～14 時 30 分
・場所：あいとぴあ臼田・浅科保健センター
・内容：社協に出来ること、市にできること、サロン体験「体操」
・出席者数：臼田会場 45 名　浅科会場 36 名

（ふれあいいきいきサロン世話人交流会事業）

○ふれあいいきいきサロン世話人等を対象に、資質向上と世話人同士の情報交換のため世話人交流会を開催した。

・日時：令和 6 年 2 月 27 日（火）2 月 29 日（木）13 時 00 分～15 時 00 分
・場所：望月老人福祉センター・佐久市老人福祉センター長寿閣
・対象：区長、世話人等

・内容：サロンのいろは（事業説明）お役立ちメニュー紹介
　　ヘルマンハープ、腹話術、健康講話、事例発表
・出席者数：望月老人福祉センター　　31 名
　　佐久市老人福祉センター長寿閣　40 名

（2）ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」（育児支援）

〇育児支援が必要な家庭に対し、支援会員が有償で支援した。社協は、利用会員と支援会員との仲介を行い調整を行った。

・登録支援会員　：78 名（R4:75 名）
・実活動支援会員：33 名（R4:8 名）
・利用登録者数　：38 名（R4:19 名）
・延べ利用時間　：690.55 時間（R4:307 時間）
・主な支援内容　：一時預かり、家事援助、沐浴手伝い
（乳幼児一時預かり事業）年 10 回
・日時：6 月 15 日（木）、7 月 20 日（木）、8 月 17 日（木）、9 月 21 日（木）
　　10 月 12 日（木）、11 月 16 日（木）、12 月 21 日（木）
　　1 月 18 日（木）、2 月 15 日（木）、3 月 21 日（木）
　　10 時 00 分～12 時 00 分
・場所：佐久市福祉総合センター
・利用者数：14 名（R4:4 名※R5.3 月から事業を開始した。）

（3）介護´助っ人´事業（介護支援）

〇介護支援が必要な家庭に対し、支援会員が有償で支援した。社協は、利用会員と支援会員との仲介と調整を行った。

・登録支援会員　：80 名（R4:77 名）
・実活動支援会員：30 名（R4:16 名）
・利用者登録者数：28 名（R4:21 名）
・延べ利用時間　：318.5 時間（R4:323 時間）
・主な支援内容　：病院の付き添い、掃除、買い物

（4）敬老会助成事業　（総務課）

〇老人の日を中心として、老人週間が設けられている。この期間に、広く市民が高齢者の福祉についての関心と理解を深め、更には多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため敬老会を実施した地区に対し助成した。70 歳以上の高齢者に対して一人 600 円（市 300 円＋社協 300 円）の助成金を交付した。

・当初対象予定者数：26,089 名（R4:25,837 名）

・申請率：86.9%
・助成金額：13,576,848 円、内社協助成額　6,788,424 円
（R4:13,535,975 円、R4:内社協助成額　6,767,900 円）

【申請状況】（　）内は昨年度末申請者数

佐久：15,565 名　（15,360 名）
臼田：　3,478 名　（3,567 名）
浅科：　1,634 名　（1,619 名）
望月：　2,004 名　（2,072 名）
合計：22,681 名　（22,618 名）

（５）佐久市社会福祉大会への参加　（総務課）

○佐久市社会福祉大会の開催（佐久市と共催）

佐久市社会福祉大会は、地域の福祉課題を取り上げ解決するため、式典表彰、実践発表、講演会等を通して、地域福祉活動への関心を深めることを目的に開催した。

・日時：9 月 16 日（土）14 時 00 分～16 時 40 分
・会場：佐久市コスモホール
・表彰：社協会長表彰 3 名
・参加者数：209 名

（６）佐久ふれあい広場の開催

○障がいの有無、老若男女を問わず、みんなが集い、ともに「出会い・ふれあい・語り合い」の場の提供を目的に佐久ふれあい広場を開催した。

・日時：10 月 15 日（日）10 時 00 分～12 時 00 分
・場所：あいとぴあ臼田
・内容：展示・販売・体験・ステージ発表、おさがり会他
・来場者：400 名（R4:開催なし）

（７）佐久市地域福祉活動計画策定評価事業

○平成 30 年 3 月に佐久市と合冊にて策定された第三次佐久市地域福祉計画と整合を図りつつ、「人と人とがつながり支え合う地域づくり」を基本理念として、計画進行管理を定期的に分析・評価をする。

また、佐久市と一体となり、第四次佐久市地域福祉計画・佐久市地域福祉活動計画を令和５年度から令和９年度の５ヵ年計画を策定し、計画に基づき事業を展開した。

（８）フードドライブ事業

〇家庭や職場に眠っている食品を集め、「まいさぽ佐久市」等を通じて、食糧を必要としている方にお届けするほか、「さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう」への食糧提供も行った。

・平日受付期間：4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
・協力者延　　：240 名（個人、企業、団体、市役所、社協等）（R4:123 名）
・食品点数　　：3,655 点（R4:4,551 点）
・食品提供先　：まいさぽ佐久市、さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう
　　能登半島地震災害炊き出し

（９）地区社会福祉協議会活動の支援並びに助成事業

〇地区社会福祉協議会は、地域住民に最も身近な社協として、「地域福祉活動」を支援し、共に支え合う地域づくりのため、市内 7 地区に地区社会福祉協議会を設置している。各地区の構成員は、区長、民生児童委員、公民館長、日赤奉仕団、保健補導員等で構成している。

（主な事業内容）

〇浅間地区　：役員会、総会　研修会
〇野沢地区　：役員会、総会　研修会
〇中込地区　：役員会、総会　研修会
〇東地区　　：役員会、総会
〇臼田地区　：役員会、総会、研修会
〇浅科地区　：総会、役員研修会、あさしな遊山の会
〇望月地区　：役員会、総会

（助成金）

・活動費交付基準：事業割　40,000 円　会員割　30 円/人

（地区社会福祉協議会合同研修会）

・日　時　　：9 月 4 日（月）10 時 00 分～11 時 30 分
・場　所　　：あいとぴあ臼田　ホール
・内　容　　：講話「社会福祉協議会のご案内・事業について」
　　「共同募金　安心・安全なまちづくり活動公募配分事業について」
・出席者　　：47 名（各地区役員）（R4:53 名）

（１０）希望の旅事業

〇介護保険サービスを利用していない、普段外出することの少ない障がいがある方やその家族を対象に社会交流の場を提供し、生きがいづくり等を高められるよう開催した。

・日時：11 月 10 日（金）8 時 15 分～19 時 00 分

・行き先：道の駅、うみてらす名立、上越市水族博物館うみがたり
・出席者：22 名（障がい者 15 名・介助者 5 名・職員 2 名）
（R4:17 名　障がい者 9 名・介助者 6 名・職員 2 名）

（１１）共同募金の募集推進及び配分金の効果的活用（総務課）

〇佐久市共同募金委員会

長野県共同募金会の内部組織として設置し、運営委員会と審査委員会を設けることで募金配分の透明化を図るよう取組みを行った。

〇運営委員会の開催

【第 1 回運営委員会】
・日　時：9 月 28 日（木）10 時 00 分～11 時 00 分
・場　所：あいとぴあ臼田　多目的室 2
・出席者：委員 6 名、監事 1 名
議案第 1 号　令和 4 年度社会福祉法人長野県共同募金委員会佐久市共同募金委員会事業報告について
議案第 2 号　令和 4 年度社会福祉法人長野県共同募金委員会佐久市共同募金委員会決算報告について
報告事項　令和 5 年度の目標額設定のための事業審査結果報告について

【第 2 回運営委員会】
・日　時：令和 6 年 3 月 18 日（月）10 時 00 分～11 時 00 分
・場　所：あいとぴあ臼田　多目的室 2
・出席者：6 名
報告事項　令和 5 年度法人募金感謝状贈呈について
令和 5 年度募金の結果に基づく令和 6 年度事業計画への配分額について
議案第 3 号　令和 6 年度社会福祉法人長野県共同募金会佐久市共同募金委員会事業計画について
議案第 4 号　令和 6 年度社会福祉法人長野県共同募金会佐久市共同募金委員会予算について
議案第 5 号　社会福祉法人長野県共同募金会佐久市共同募金委員会審査委員選任について

〇審査委員会の開催

【第 1 回審査委員会】
・日　時：7 月 26 日（水）10 時 00 分～11 時 00 分
・場　所：あいとぴあ臼田　多目的室 2

・出席委員：6 名
・内　容：令和 5 年度の募金募集の目標額設定のための申請事業審査について

【第 2 回審査委員会】（書面審査）
・日　時：令和 6 年 2 月 8 日（木）14 時 00 分～14 時 40 分
・場　所：あいとぴあ臼田　多目的室 2
・出席委員：6 名
・内　容：令和 5 年度の配分金決算見込みによる再審査について

〇事業及び会計監査
・日　時：6 月 29 日（木）
・場　所：あいとぴあ臼田　多目的室 2
・内　容：令和 4 年度社会福祉法人長野県共同募金会報告
令和 4 年度社会福祉法人長野県共同募金会会計決算
・出席監事：2 名

〇安心・安全なまちづくり活動公募配分事業
・令和 5 年度配分決定：中桜井区
・対象事業：避難所用物品整備事業　申請額：200,000 円
・令和 6 年度申請受付：常和区自主防災組織、新子田区、平賀上宿区、岸野地区、北川防災会

〇令和 5 年度「NHK 歳末たすけあい募金」特別配分事業
・配分決定：佐久市社協多機能型事業所くれよん

〇共同募金の募集期間（10 月～3 月）
・区長、赤十字奉仕団等の協力のもと、佐久市内の各世帯に募金をお願いした。
・法人へのダイレクトメールによるお願いや、学校を訪問し、児童・生徒への募金をお願いした。
・戸別募金　11,379,073 円（R4: 11,927,893 円）
・法人募金　2,594,000 円（R4:　2,673,500 円）
・学校募金　80,160 円（R4:　128,571 円）
・その他　154,214 円（R4:　24,964 円）
・合計　14,207,447 円（R4：14,764,928 円）

○共同募金助成事業（福祉団体助成）

共同募金委員会で決定された共同募金の配分金を、申請のあった福祉団体の行なう事業に交付し活動を支援した。また、民生児童委員協議会には社協会費を財源として助成金の交付を行った。

【交付団体】

佐久市シニアクラブ連合会　佐久市赤十字奉仕団　佐久市戦没者遺族会
佐久市保護司会　佐久市身体障害者福祉協会　佐久市手をつなぐ育成会
佐久市更生保護女性会　佐久市精神障がい者家族会　佐久聴覚障害者協会
佐久手話サークル　佐久市保育協会　佐久市保育園保護者会連合会
佐久市食生活改善推進協議会　佐久肢体不自由児(者)父母の会
佐久市民生児童委員協議会（社協会費）　　15 団体

◯災害援護金配分申請

火災等で被災された世帯に、災害見舞金等の支給をした。

・ 4 件　50,000 円（R4:5 件　50,000 円）

（１２）高齢者緊急時連絡票の配布

○70 歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、訪問者が緊急時に家族や関係機関へ速やかに連絡するための「緊急時連絡票」を民生児童委員の協力を得て希望者へ配布した。

・配布枚数　：5,228 枚（R4:664 枚）

（１３）ひとり暮らし高齢者等見守り事業　（市受託事業）

○70 歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、安否確認や話し相手などになることで「地域の見守り」を行う。

・実施地区　：市内全域
・実施回数　：4 月～令和 6 年 3 月（月 1 回）
・延べ件数　：10,869 件（R4:12,678 件）
・訪問者　　：各地区民生児童委員
・その他　　：乳酸菌飲料の配布と合わせて、おたよりを添えた。

８　福祉課（地域福祉部門：福祉教育事業の充実）

（１）社会福祉普及校（福祉体験教室・福祉教材用 DVD 貸出）事業

○児童・生徒・学生が、体験をとおして社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に思いやりの心を育むための活動を行っている小学校、中学校、高等学校、大学等へ助成を行った。

（社会福祉普及校指定校）

○指定校：20 校（R4:22 校）

・小学校　10 校（佐久平浅間・平根・中佐都・岸野・中込・佐久城山・東・臼田・浅科・望月）（R4:11 校）

・中学校　6 校（野沢・中込・東・臼田・浅科・望月）（R4:5 校）

・高等学校　4 校（佐久平総合技術浅間キャンパス・佐久平総合技術臼田キャンパス・寺小屋高等学院・地球環境高等学校）（R4:5 校）

・大学　1 校（佐久大学）（R4:1 校）

○助成額　1 校 30,000 円

（福祉体験教室開催校）

○小・中・高校生等を対象に、障がいのある方の講話や車いす、手話、点字体験等を行う福祉体験教室を開催し、福祉に対する理解を深め、思いやりの心を育む学習を行った。

○体験教室開催校：6 校（R4:8 校）

・小学校　：なし（R4:2 校）

・中学校　：5 校（佐久長聖・野沢・臼田・浅科・望月）（R4:5 校）

・高等学校：1 校（寺小屋高等学院）（R4:1 校）

・体験内容　：車いす体験、ブラインドマラソン、点字体験、手話体験
絵手紙教室

（２）バリアフリーマップ事業

○障がい者や高齢者、乳幼児をお連れの方などが、安心してまちに外出し、行動範囲を拡大できるよう、市内の公共施設や商業施設等のバリアフリー情報を社協ホームページで提供した。

・76 か所掲載（R4:76 か所）

９　福祉課（地域福祉部門：団体事務）

（１）日本赤十字社長野県支部佐久市地区

○赤十字奉仕団分団長を対象に、日赤活動資金募集活動について個別に説明をし活動を実施した。

○日赤活動資金募集活動期間

・募集活動期間：8 月 1 日（火）～10 月 31 日（火）

・目標額　　：14,163,000 円

・実績額　　：10,939,536 円　21,780 件

（R4:11,130,947 円　　22,067 件）

（２）佐久市赤十字奉仕団

○赤十字の博愛人道の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくための地域社会で奉仕活動を行った。

（赤十字奉仕団研修会）

・期　日　：11 月 24 日（金）

・研修先　：日本赤十字社長野県支部

・研修内容：長野県赤十字歴史資料館見学

・出席者　：13 名

（R4:書面開催：包装食袋を使った炊き出しについて
屋内安全対策編、家庭内備蓄品編について）

（３）佐久市シニアクラブ連合会

○魅力ある活動と広報活動を強化し、社会貢献活動を通して会員の生きがいづくりや健康づくり活動を支援した。

○シニアクラブ加入数、会員数

・単位クラブ数：41 クラブ（佐久 33、臼田 3、浅科 5）

（R4:45 クラブ　佐久 37　臼田 3　浅科 5）

・会員：2,676 名（佐久 1,895 名、臼田 297 名、浅科 484 名）

（R4:2,901 名　佐久 2,138 名　臼田 303 名　浅科 460 名）

・役員会、正副会長会、各地区の活動開催

・会報発行（年 2 回）

・会員数が、年々減少傾向にあるが、会員加入促進を行い各地区活動を推進した。

（4）佐久市戦没者遺族会

○佐久市戦没者遺族会の事務局とし、会の会計、会議の調整、県遺族会との連携、大会や追悼式の参加調整、開催等を行った。

○事業開催

・幹部会議：6 月 19 日（月）、10 月 13 日（金）
・理事会・評議員会合同会議：7 月 18 日（月）
・全国戦没者追悼式：8 月 15 日（火）
・佐久市戦没者追悼式：8 月 15 日（火）
・第 71 回長野県戦没者遺族大会・追悼式：10 月 20 日（金）～21 日（土）
・令和 5 年度佐久市戦没者追悼式・遺族大会：10 月 29 日（日）
・戦争体験を聞く勉強会：令和 6 年 2 月 15 日（木）

（5）佐久市献眼者慰霊祭の開催

（献眼者慰霊祭の開催）

・日　時：10 月 4 日（水）午後 2 時 30 分～
・場　所：佐久市福祉総合センター
・内　容：献眼者紹介、献花、茶話会
　＊佐久ライオンズクラブと連携しながら、5 年に一度献眼者がいた場合開催する。

１０　福祉課（施設管理・運営部門）

（1）佐久市福祉総合センター

○福祉団体及びボランティアグループに会議室等を無料で開放し、活動の活性化とボランティアの育成を図った。

・年間施設利用者数　7,362 名（R4:5,384 名）

○自己所有の施設を拠点として利用していただくことで、子育てグループ間の情報交換、協働活動を図り、新たな活動の展開を促した。

・利用グループ数　738 グループ　（R4:685 グループ）

○主な修繕等　冷暖房機設置（中会議室・和室）、女子トイレ手洗器水栓修繕

（2）佐久市老人福祉センター「長寿閣」：老人福祉法 20 条の 7 に基づく施設運営

○高齢者の憩いの場所や各地区ふれあいいきいきサロンの開催場所の提供。

○シニアクラブ活動のための施設供与と育成。

○レクリエーション活動の増進と各種講座の開設。

・年間施設利用者数　10,784 名（R4:7,210 名）

○入浴施設の提供

・年間入浴利用者数　7,654 名（R4:4,785 名）

【入浴利用料】　　一人 100 円

○主な修繕等

入浴用ろ過機ろ過材の交換、防火扉調整、ファンヒーター修繕、
大広間畳張替、女性浴室換気扇ダクト修繕、消防用設備修繕

（3）佐久市臼田老人福祉センター：老人福祉法 20 条の 7 に基づく施設運営

○高齢者の憩いの場所や各地区ふれあいいきいきサロンの開催場所の提供。

○シニアクラブ活動のための施設供与と育成。

○レクリエーション活動の増進と各種講座の開設。

・年間施設利用者数　235 名（R4:212 名）

○主な修繕等　ブラインド取替、網戸取付修繕

（4）佐久市臼田総合福祉センターあいとぴあ臼田

指定管理期間：令和 2 年 4 月～令和 7 年 3 月

○基本協定に基づく施設の管理

○地域における総合福祉及びふれあい拠点として、市民の福祉と意識の高揚を図ることを目的に管理運営を行った。

・年間施設利用者数　49,177 名（R4:37,282 名）

・年間入浴利用者数　9,313 名（R4:6,714 名）

【入浴利用料】中学生以上 65 歳未満一人 200 円、65 歳以上一人 100 円

○主な修繕等

・給湯循環ラインポンプ交換、北側男子トイレ手洗い器交換、消火器交換、誘導灯交換

（5）浅科保健センター　指定管理期間　令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月

○基本協定に基づく施設の管理

○市民の健康の保持及び保健衛生の向上に資するための総合的な保健サービスの拠点として管理運営を行った。

・年間施設利用者数　13,157 名（R4:11,463 名）

○主な修繕等

・誘導灯予備電池交換、女子トイレ暖房便座修繕

（6）佐久市望月老人福祉センター

指定管理期間　令和 2 年 4 月～令和 7 年 3 月

○基本協定に基づく施設の管理

○地域の高齢者の健康増進、憩いの場として施設の保守管理、利用者の送迎、入浴業務、地域サロンの開催場所としての活用促進した。

・年間施設利用者数　5,972 名（R4:4,331 名）

・年間入浴利用者数　5,377 名（R4:4,093 名）

【入浴利用料】　一人 100 円

○主な修繕等

・シャワー給湯配管パイプパンク修繕、ネボンボイラー老朽化修繕、漏水ボイラー室前配管替

１１　福祉課（介護保険・障害福祉部門）

（1）佐久市あいとぴあ臼田デイサービスセンター

○高齢者の要介護状態の軽減、若しくは機能低下の防止に資するよう必要な日常生活上の介助及び機能訓練を行い、利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図った。令和 4 年 11 月より、基準該当生活介護の受け入れを開始した。

＊一般型利用者延べ人数　7,089 名（R4:6,901 名）

・事業対象者（総合事業）　198 名　・要支援 1　58 名　・要支援 2　419 名

・要介護 1　2,698 名　・要介護 2　1,272 名　・要介護 3　977 名

・要介護 4　1,005 名　・要介護 5　462 名

＊認知型利用者延べ人数 1,399 名（R4:1,508 名）基準該当　316 名（R4:50 名）

・総延べ利用者数　8,744 名

・介護保険事業収益　86,124,920 円　（R4:82,967,834 円）

・地域貢献で、多機能型事業所くれよんのアルミ缶収集に協力している。

・実習生の受け入れや中学校での福祉体験教室への参加、ボランティアの受け入れをし地域の方々との関わりを図った。

（2）佐久市浅科デイサービスセンター

○令和 2 年 4 月より定員 18 名の地域密着型通所介護に移行する。

高齢者の要介護状態の軽減、若しくは機能低下の防止に資するよう必要な日常生活上の介助及び機能訓練を行い、利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図った。

＊地域密着型利用者延べ人数　3,115 名（R4:3,148 名）

・事業対象者（総合事業）110 名　・要支援 1　49 名　・要支援 2　744 名

・要介護 1　783 名　・要介護 2　551 名　・要介護 3　366 名

・要介護 4　250 名　・要介護 5　262 名

・総延べ利用者数　3,115 名

・介護保険事業収益　30,386,717 円　（R4:31,852,002 円）

・地域密着型の通所介護事業所として、地域のふれあいいきいきサロンへの参加。（塩名田区）

・出張理美容サービス及び自分の目で確かめ品定めし、買い物できる移動販売車は、自然と会話が弾み、毎回楽しみにされており、利用された方から好評であった。

（３）就労継続支援Ｂ型　臼田共同作業センター

〇事業の成果

製袋、電子部品組立、樹脂部品加工等の作業、清掃作業の他、文化振興課のパンフレット等封入作業、赤い羽根加工作業、ろうきんチラシ等封入作業を行った。　また、新規作業として、ペン先のリサイクル作業を取り入れ、作業の幅を広げるとともに、利用者に対して継続して作業提供できる体制を整えた。地域のニーズに応じて、看護学校や養護学校の実習生の受け入れ、中学校の福祉体験、職場体験の受け入れを感染予防を徹底した上で実施した。

〇支援及び相談

・相談支援専門員や他関係機関と連携を密にとることにより、希望者に対して作業センターを円滑に利用できるように配慮した。また、利用者に対しては、個別支援計画を作成、定期的な面談を実施し、モニタリングを行った。

・開所日数　243 日（R4:238 日）

・延べ通所利用者数　4,325 名（R4:4,745 名）

・一日平均利用実績　17.7 名（R4:20 名）

・報酬額　31,960,570 円（R4:34,896,470 円）

〇生産活動

・鈴与マタイ製袋作業、H・A 電子部品作業、伊孝樹脂部品加工作業、デイサービス清掃作業に加え新規で、リブートのリサイクル作業を開始した。

・自主製品、一時的な季節の作業も取り入れている。

・工賃収入　3,779,368 円　（R4:4,125,641 円）

・平均工賃月額　17,338 円（R4:13,006 円）

〇販売活動

・バルーンフェスティバル、佐久総合病院の「病院祭」ふれあい広場、福祉展、ナイスハートバザール等のイベント販売も規模の縮小等あるが、再開され、販売を行うことができるようになり、新しい自主製品作りにも取り組んだ。

〇視察研修　9 月 15 日（金）

・希望者のみではあるが、感染症、熱中症対策をとり、4 年ぶりに行うことができた。佐久地域の事業所の見学を行い、事業所の違いや資源を知ることができた。また、利用者同士のコミュニケーションや気分転換をすることができた。

（４）就労継続支援Ｂ型　浅科ふれあいホーム

〇事業の成果

・主な作業として製袋・電子部品組立・部品加工・プラスチック製品検品、組立・菓子箱折り等を行っているが、企業の体制が変わり受託作業内容が変わりつつある。

・中断していたバックヤードでの袋詰め等の「農福連携」作業が企業側の調整がつかず新規作業として、ペン先のリサイクル作業を取り入れることが出来た。

〇支援及び相談

・相談支援専門員や他関係機関と連携し、個々の目的に合わせ支援の調整・相談を行い１名の利用者が就労継続支援Ａ型へ移行することが出来た。

・体調不良等で長期欠席者に対し、関係機関と連携し計画等の見直しを行ない安心して通所できるよう調整等を行った。また、定期的なモニタリングとアセスメントでは、適切な支援ができるよう計画を見直した。

・開所日数　　243 日（R4:243 日）

・延べ通所利用者数　4,399 名（R4:4,469 名）

・一日平均利用実績　18.1 名（R4:18.4 名）

・報酬額　33,507,140 円（R4:36,595,510 円）

〇生産活動

・新たな作業を開始したことで、多くの利用者に提供できるようになったが、作業内容に変化があり、習得できるよう繰り返し支援を行う時間が必要となった。

・就労継続支援Ａ型への移行者がおり、施設内の利用者への自己意識の向上となった。

・農園ボランティアの協力を得て野菜作りを行い、収穫野菜を通所者や地域の方へ販売することができた。地域密着型通所介護「浅科デイサービスセンター」利用者の方とのさつま芋掘りを行い、地域交流活動を実施した。

・工賃収入　4,581,441 円（R4:5,181,382 円）

・平均工賃月額　22,797 円（R4:18,160 円）

〇販売・イベント等参加状況

・佐久総合病院・福祉展・ナイスハートバザール等のイベント販売も規模の縮小等あるが再開され、販売を行うことが出来るようになり新しい自主製品作りに取り組んでいる。社協本所、支所に展示することで、地域の方へ販売も出来ている。

〇視察研修　9 月 22 日（金）

・希望者のみではあるが、感染症、熱中症対策をとり、佐久地域の移転された事業所や新規事業所の見学を行い、事業所の違いや資源を知ることができ通所日と違う日課で利用者同士のコミュニケーションや気分転換をすることができた。

（５）佐久市社協特定相談支援事業所

〇障がいのある方が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、 サービス等利用計画の作成及び関係機関との連絡調整を行った。

・延べ利用者数　　1,366 名　　（R4:1,270 名）

・請求件数　　517 件　　（R4:495 件）

・障害福祉サービス等事業収益　　6,285,280 円（R4:6,451,830 円）

（６）佐久市社協多機能型事業所くれよん

〇生活介護は、18 歳以上の障がい者に、創作的活動または生産活動の機会を提供しながら生活能力の維持向上を図った。

〇放課後等デイサービスは、6 歳から 18 歳の障がいのある子どもや発達に特性のある子どもをサポートしながら必要な療育を行った。

（生活介護）

・延べ利用者数　2,458 名（R4:2,519 名）

・障害福祉サービス等事業収益　22,926,050 円（R4:22,819,339 円）

（放課後等デイサービス）

・延べ利用者数　1,413 名（R4:1,482 名）

・障害福祉サービス等事業収益　12,116,520 円（R4:12,049,198 円）

（７）居宅介護支援事業所（社協ケアプランセンター佐久）

〇令和 5 年 9 月 30 日をもって事業所を廃止とした。